

まほろば



2018.11
第207号

看護学校 誓い式

10月18日、紅葉日々が増す中、私たち66回生40名は誓い式を迎えました。ナイチンゲールから灯を授かり、それぞれが理想とする看護師像を掲げながら、ナイチンゲール誓詞、誓いの詞を唱和し、そして未来に対する希望を表したキロロの「未来へ」を合唱しました。

これから、臨地実習が少しずつ始まろうとしていますが、私たちが学ぶことができるのは、臨地実習を受け入れて下さる病院や施設の方々、患者様とご家族、先生方、先輩方、家族の存在があってこそだと感じています。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからの学習に取り組んでいきたいと思えます。

私たちのクラス目標は「万里一空」です。この言葉は、どこまでも同じ目標を見据え、たゆまず努力を続けるという意味を表しています。自分の理想とする看護師像に近づけるよう、クラスで力を合わせ、目標を見失わず進んでいきます。

弘前病院附属看護学校 1年：對馬 菜月



1年 谷川さん

インフルエンザ流行シーズンはもうすぐです～感染を拡げないために～

インフルエンザへの理解を深め、正しい知識や予防法を身につけましょう！

● どんな病気ですか？

インフルエンザウイルスによる感染症です。流行は12月から始まり、1月末から2月上旬がピークです。感染すると、発熱・頭痛・だるさ・筋肉や関節の痛みなどが現れ、その後、咳・鼻水等が現れます。通常は1週間程で良くなります。

● かからないためにどうする？

・流行前のワクチン接種

効果が出るのは接種2週間後からなので、11月頃には接種を始めるのが望ましいです。効果は約5ヶ月間なので毎年の接種が必要です。感染を完全には予防できませんが、発症と発症後の重症化(入院や死亡)を予防する効果が報告されています。

・飛沫感染対策～咳エチケット

インフルエンザは、主に咳やくしゃみの際に口から出される小さな水滴(飛沫)によって感染します。飛沫の拡散を防止する(咳エチケット)ことが重要です。

・手洗い

ウイルスがついた手で口鼻を触ることで感染します。石鹸による手洗いは手についたウイルスを除去するために有効な方法です。帰宅後・外出先などでもこまめに手洗いをしましょう。

・その他

部屋の湿度を保つ、十分な休養とバランスの良い栄養で免疫力アップ、人混みや繁華街への外出を避けてウイルスをもらわないようにしましょう。

● 家族がかかったら？

家庭内でも予防対策が必要です。マスクをつけて、手洗いと良く触れる箇所の拭き掃除、換気をこまめに行いましょう。

感染管理副看護師長：對馬 春子

【咳エチケット】



捨てた後の
手洗いを
忘れずに！

インフルエンザのような症状がある時の受診は、マスクを付けてお越しいただき、あらかじめ診療科受付へ症状をお伝えいただきますようご協力をお願いいたします。

第12回青森県臨床研修医ワークショップ

去る10月12-13日の2日間にわたり、国保黒石病院の企画で第12回青森県臨床研修医ワークショップが開催されました。例年県内の基幹型病院を中心に、県内の初期研修医を対象に、臨床研修のための様々な課題・問題をテーマにワークショップ形式で行われているもので、今回は青森県内の初期研修医75名が参加、当院からは研修医1年目の8名が参加しました。「感染症」をテーマに抗酸菌感染症の現況、後天性免疫不全症候群について過去との違い、現在における取り扱いについてそれぞれ高梨信吾弘前大学教授、久保恒明青森県立中央病院血液内科部長の講演があり、不定愁訴を訴えるマイコプラズマ肺炎の一例について、弘前大学医学部臨床検査医学講座齋藤紀先准教授の司会で、症例検討方式で活発な討議が行われました。

抗酸菌については現在も少なからず発症例があ

り、青森県の患者数は山形県の2倍と多いこと、特に院内では早期発見と感染拡大の予防が大切で、疑ったら喀痰抗酸菌培養を行うことを徹底するよう指導がありました。また後天性免疫不全症候群については新規発症例の増加に対する注意喚起、院内においては針刺し事故における取り扱いについての説明がありました。地域における針刺し事故は、歯科医院などにおいても生じうるため、今後地域全体における対応を検討する必要があります。

本ワークショップは今回、南田温泉アップルランドで行われました。研修医の先生にとっては旧交を温める良い機会でもあり、また内容は実践の場で必ず役にたつことと思います。参加者並びに会の運営に尽力されました職員の皆様には厚く御礼申し上げます。

臨床研究部長：石黒 陽



入院支援センターが開設されました

平成30年9月25日より、当院外来棟の憩いのコーナー（自動販売機コーナー）の隣に「入院支援センター」が新たに整備されました。予約入院する患者さんに対して、入院が決定した時点で担当看護師が入院前オリエンテーションなど面談を行い、患者さんやご家族が安心して入院し、安全に治療や検査が受けられるための準備を支援しております。

開設の目的は、①入院から退院、外来診療における切れ目のない支援体制の提供を目的として、様々なリスクを抱える患者さんを入院前からスクリーニングし、スムーズな退院支援につなげること。②入院予定の説明業務や事務手続きの集約化を図ることにあります。

入院支援センター開設前は、患者さんは入院当日に外来、医事と複数の受付窓口を回る必要がありましたが、開設後は入院受付窓口で受付し、各所を移動することなくスムーズに入院することができます。また、開設前は、入院当日に行われていた入院説明・事務手続きに加え、入院中の看護や中止薬確認・説明等を入院前にすべて行うことで、外来・病棟の業務の効率化を図ることができました。

入院前のサポートを行うことで効率的な医療の提供はもちろん、患者さんの満足度向上にもつながると考えております。また、入院前から「入院生活」「退院」「退院後の生活」を見据えて行う支援の評価として30年度診療報酬改定にて新設された「入院時支援加算」の算定も可能となりました。

今後は「入・退院支援センター」への発展を目指し、更なる入院支援センターの充実を図っていきたいと思います。

具体的な入院支援センターの業務内容は以下のとおりです。

開設時間	平日 8:30~17:15
場 所	外来棟 憩いのコーナー
担 当	看護師2名
業務内容	入院生活についての説明 手術・検査の説明 入院日時の確認と入院当日の手続きについて 患者様の基本情報の確認 休止する薬について など

※当面は、入院予約の際に、各外来で入院支援センターのご案内をさせていただいた患者様に限り、入院支援センターでの対応となります。

企画課 専門職：越田 幸樹



消防訓練を終えて

平成 30 年 10 月 22 日、3 階病棟の病室が火元となる夜間を想定した消防訓練を行いました。夜勤看護師 3 名が、互いに連携し、通報から、初期消火、そして模擬患者 40 名の避難誘導を行いました。応援に駆け付けた当直看護師長、他病棟勤務者、事務当直者、宿舎居住者に、必要な指示を伝え、患者全員を病院北側に位置する駐車場、第三避難所へと誘導しました。終了後の意見交換の場では、院内の緊急放送で必要な情報は伝わったか、患者の避難誘導は適切だったか、患者の安全は守られていたかなど、避難までの所要時間・指示・伝達方法など、観察者からの意見等を基に振り返りを

行いました。

近年高齢の入院患者が多くなってきており、患者さんへ必要な情報を速やかに伝え、安全に避難・誘導するためには、病棟スタッフと応援者の連携が非常に重要です。特に夜間は病棟勤務者が少ないため、職員それぞれが落ち着いて行動できるよう、普段からマニュアル整備し、定期的なイメージトレーニングが必要である事を痛感しました。今回の訓練を活かし、どんな時でも患者様に安全と安心を与える行動がとれるようにしていきたいと思います。

3階病棟看護師長：添田 恵美子



研修医便り

研修医 1 年目の村上光太郎です。早いものでここで働き始めてから半年が経ってしまいました。生活のリズムや病院の仕組みに徐々に慣れてきたような気がします。

9 月末に夏休みを頂いて海外旅行をしてきました。どこに行ったかというところ…イスラエルです。皆さんはイスラエルと聞いて危険なイメージを持つかもしれませんが、友人には反対されました。しかし実際にイスラエルに着いてみると治安の良さに拍子抜けします。キリスト教、イスラム教、ユダヤ教と 3 つの宗教の聖地だけあり、歴史的な建物・場所も多く、歴史好きの人にとってはとても楽しめる場所だと思います。英語も広い範囲で通じるので、興味がある方は来年の旅行先の候補にイスラエルを加えてみて下さい。



臨床研修医：村上 光太郎

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2018年11月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	横田貴志	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子	下山垂矢子
		下山垂矢子	田中佳人	田中佳人	—	田中佳人
		—	石岡佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木明彦	相原智之	相原智之	松木明彦	相原智之
		山口公平	山口公平	松木明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	千葉裕樹	佐藤年信	安田耕平	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	千葉裕樹	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	敦賀和志	佐藤工	杉本和彦
		敦賀和志	梅津英典	佐藤啓	梅津英典	佐藤啓
		遅野井香純	—	—	—	遅野井香純
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅
整形外科	午前	佐々木規博	秋元博之	秋元博之	藤田有紀 受付10時まで	秋元博之
		藤田有紀	藤田有紀	佐々木規博		佐々木規博
		猿賀達郎	市川奈菜	猿賀達郎		佐々木静
脳神経外科		—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		飯野香理	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野香理
		松村由紀子	小玉都萌	松村由紀子		追切裕江
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		西澤尚徳	西澤尚徳	休診	西澤尚徳	西澤尚徳
		野村彩美	三浦菜	—	—	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	休診	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

にっこりと 貴女はだれ?と 認知症

(長女)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirotsuki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>